

平成24年度食の安全に関する公開講演会の開催案内

テーマ 「食の安全管理に関する国際動向と日本の課題について」

目的 食品の安全管理について日本の対応は国際的にどのように評価されているのかなどから、日本の課題を探ります。諸外国は食品の安定供給という食糧安全保障と国民の健康保護の観点から、戦略的に食の安全管理について基本的国家施策として取り組んでいる事例が多いと聞いています。一方、我が国の現状を考えると、個別の施策はそれぞれ縦割り組織で行われているものの、このような視点に沿った取り組みがなされているか疑問があります。そこで、食品の安全確保に関して日本として戦略的な取り組みをすることの必要性について広く議論する機会を提供するものです。これまで、あまり議論されなかった「食の安全を巡るガバナンスの構造の重要性」について学ぶとともに、輸入食品への関わりの現状を踏まえながら日本のあり方を考えるヒントを得たいと思います。

日時 平成24年11月9日(金) 13時半から17時まで

場所 一般財団法人 日本科学技術連盟 本部3号館3階講堂
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11 TEL:03-5843-2051

プログラム

開会挨拶 関澤 純(NPO 法人食品保健科学情報交流協議会理事長)

共催挨拶 小野寺将人((財)日本科学技術連盟 ISO 審査登録センター所長)

(1) 講演1 「食品安全のガバナンスの視点 国際動向と日本への示唆」

松尾真紀子(東京大学公共政策大学院政策ビジョン研究センター 特任研究員)

(2) 講演2 「アセアン諸国の食品事情、食品バイヤーの視点から」

中村 眞(日興インターナショナル株式会社 代表取締役)

(3) 講演3 「輸入食品監視最前線の現状—東京検疫所等の取り組みを中心に」

酒井 悟(厚生労働省東京検疫所 企画調整官)

(4) 総合討論

司会 渡邊清孝 (一般財団法人日本科学技術連盟 ISO 審査登録センター食品安全審査室長)

パネリスト 上記3名の演者

消費者の立場から 消費生活コンサルタント 森田 満樹

食品事業者の立場から 大日本水産会 田口 博人

参加費 食科協会員 2,000円

(賛助会員は1会員につき、3名様を無料とします。)

非会員 5,000円